



サイボーグ009
超銀河伝説



シャトル

コマダー星

中性子星

スターメイズ

ボルテ

カデッツ要さい星

サイボーグ・メンバーズ

愛と勇

スターゲート

月

ファンタリオン星

イシュメール

ックス

イシュメールの

気の航跡

海王星

冥王星

天王星

土星

木星

小惑星群

火星

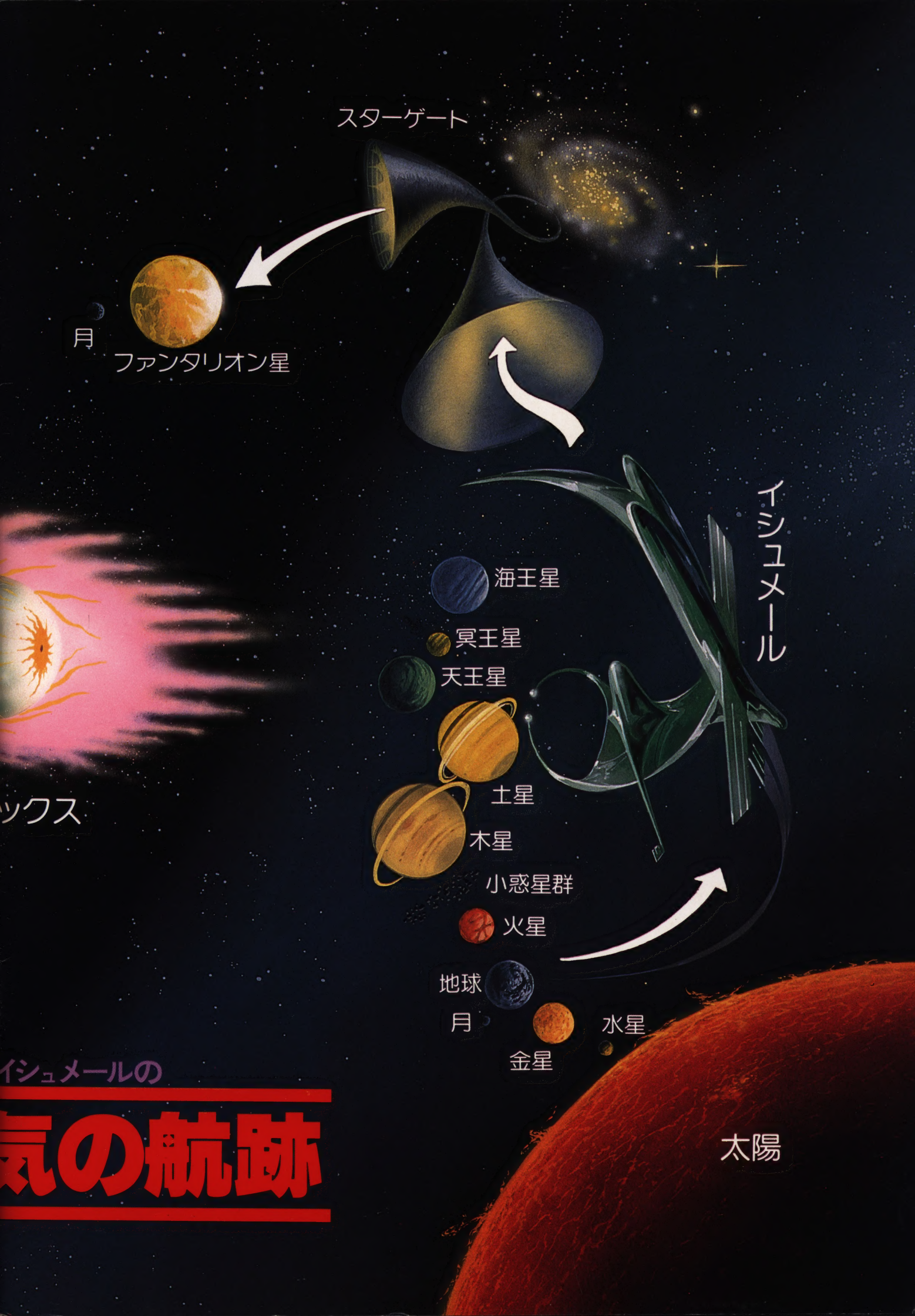
地球

月

金星

水星

太陽



あらゆる宇宙

あらゆる愛を

越えて いま、

“星の門”の彼方へ

スターゲート



石森 章太郎

このメッセージ・タイトルは、ボクが、ボク自身の為のみに用意した、今度の劇場用長篇アニメ大作「サイボーグ009・超銀河伝説」のキャプションです。

「サイボーグ009」は、もう20年近くも描き続けている、いわば、愛するわが子同然のSF作品です。ですから、せっかくアニメーションにするのなら、これまでのSF、これまでのアニメ、これまでのあらゆる作品を全て超えたモノを作ってみたい——そんな期待と意志を、このキャプションの中にこめたのです。“星の門”を越えるとそこに——この作品「サイボーグ009・超銀河伝説」があった……そんな具合にしたかった訳なのです。

サテ、では果して現実に、このキャプション通りに、あらゆる宇宙、あらゆる愛を越えた“宇宙”や“愛”を描けるだろうか?“本



づくり。(ストーリー)に入る前の基本設定(アイデア)で、先ずそれが問題になりました。モヤモヤモヤ……頭のどこかで、その胚がうごめき始めました。でも、まだ形にはなっておりません。形にする為の血や肉や骨となる素材が必要です。そうです。とにもかくにも胚を卵にまでする素材……。

サイボーグ(CYBORG)は、既に皆さんもご存じのように〈改造人間〉です。〈改造人間〉の原点的アイデアは、シュメールやギリシャの神話時代から“キメラ”などというような形でありました。近代になるとそれは“フランケンシュタインの怪物”等を引き継がれ、更に現代的な光が当てられたのは、“宇宙探査用人間”としてでした。真空の宇宙・極寒・極暑の、あるいは大気の組成が地球とはまるっきり異なる星々へ、そんな条件に適應するように人間を改造して送り出す。人間の肉体の各部分にメカニズムを加え、防護もしくは強化して活躍してもらう……。サイボーグ。これはもうそのままSF的発想です。もともとその為の人間ですから、宇宙舞台もO・Kです。となれば後は、更にSF的なアイデアだけです。

ボクは小学生時代から、もう30数年もSFの“愛読者”でした。SFに関する知識は、まあかなり相当のもの、と自負しています。でも、これは大作であります。あらゆるSFを越えるSF、は、あるいは現実にはシンディかもしれませんが、あらゆるSFの面白さ、SFらしさをたたき込んだSFなら、出来ないはずはありません。そして、そんな作品にする為には、やはり本場の力を借りたいところです。SFの本場、といえば当然アメリカ、しかも現在、そのアメリカでも最もSFらしいSFとなると——「スター・ウォーズ」で、ジェフ・シーガル氏の登場となります。ジェフは「スター・ウォーズ」のシナリオ・ライターの一人なのです。

ボクのモヤモヤ(基本的アイデア)に、ジェフの素材を加え、プロデューサー、シナリオライターその他のスタッフがそれをかきまわし、やっと“卵”(脚本)の形になったのは、スタートから既に半年後、でした。でも、これだけの時間をかけただけの価値のある“卵”になりました。が、実は、これからが、ほんとうに大変なのです。卵をヒナにかえし、更に成鳥にするための大仕事が待っているのです。しかも、今までに見たこともないような立派な成鳥(作品)に育てるための作業……。優秀なスタッフが必要です。集めてもらいました。そして、ボクはスタッフにこう言いました。

——既成作品のアイデアを越えたアイデアを生かすには既成作品の映像を越えた映像が必要です。越える為には、いままでと同じ手法は通用しません。新しいモノには実験がつきもの。大いに実験精神・冒険精神を発揮して下さい。映画の面白さは、アイデアと映像でキマります。皆さんノロシクお願いしま〜す。

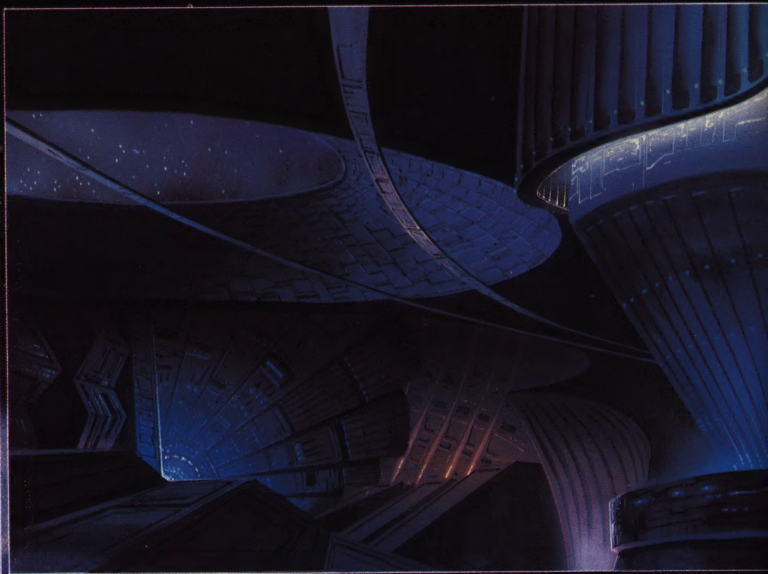
なにしろアニメーションは(普通の映画もそうですが)多勢の人人の、一致協力による共同作業でなければ出来ないのです。ボクも必死でアリマス……。

やってくれました。挑戦と冒険。失敗から失敗、描きなおしてから描きなおし……。こうなったらもう、音楽も声優サンも新鮮に大胆に超一流クラスを。上映日も決定しました。東映もアニメーションでは初の試み、'81正月全国一斉公開(正確には'80年12月20日ですけど)ノええそうです。'81年度のトップを飾る映画です。81=8+1=9=009。なにやら縁起のイイ数字でもあります。

大作宇宙船は動き始めました。翔び出します。地球から太陽系から“星の門”をくぐり銀河を越えて……。その彼方に——あらゆる宇宙を越えた、あらゆる愛を越えたSFの、アニメーションのセンス・オブ・ワンダーの世界が広がっています。

皆さんがこの“宇宙船”の乗組員です。2時間の夢の旅行で、皆さんの「サイボーグ009」、皆さんの「超銀河伝説」を、是非ともつuckingていただきたい。そう思います。

そこには 全てがあつた
あらゆる愛が 憎しみが 智恵が
そして
あらゆる力が……その時
人類は 宇宙の心に触れた……



解説

「サイボーグ009」は'64に週刊少年キングに初めて登場して以来、その卓抜なアイデアと展開で数多くの雑誌に連載され、更にTVシリーズ化、映画化と実に16年間もその人気を保ち続けている人気漫画家石森章太郎のライフワークともいえる作品である。

今回「サイボーグ009・超銀河伝説」として全く新しい構想とアイデアをもちこんで、初めての劇場用長編アニメとして登場。

そして大ヒット作「スター・ウォーズ」や「スーパーマン」などをのりこえた、あらゆる娯楽的要素をつめこんで、実写ものの「007シリーズ」をもしのぐ、スケールの大きな面白い作品となった。

というのも、原作の持ち味を忠実に描くだけではなくもう一步踏みこんで、長いサイボーグ009の歴史にもいまだかつてそういう設定はなかったという、銀河系のはるかかなた、大宇宙の奥底のナゾを舞台にただけあって、そこに想像を超えた広大なスペクタクル・ロマンがくり広げられるのだ。

あらゆる宇宙、あらゆる愛、あらゆるアニメを超えた壮大なスケールの娯楽映画として作られた「サイボーグ009・超銀河伝説」は、光と映像による特撮テクニックなど、初めての試みにも挑戦、正月映画にふさわしい超娯楽大作として完成したのである。

ストーリーは、宇宙の母源ともいべき超エネルギー源である謎の存在「ボルテックス」をめぐる、壮大なドラマが展開していく。

この未曾有の超エネルギー源は、だれもその正体を見たものはないが、悪用されれば、それを手にしたものが宇宙を制覇するとまで考えられていた。そして、地球から40万光年の位置にあるダガス星の大帝王ゾアが、それを秘かに手に入れようとしていた。

その野望を打ちくだこうと、サイボーグ戦士たちは未知の宇宙へと旅立つ。その行く手にはさまざまな敵の攻略、宇宙の不思議が待ちうけ、全宇宙の存亡をかけたスペクタクル・アドベンチャーがくり広げられていく。

登場キャラクターは001から009までの9人のサイボーグ〈改造人間〉戦士たち。人間味にあふれ、人間の能力をはるかに超えたキャラクターをもつ彼らが、そのスーパーマンぶりを発揮しながら、大宇宙を背景に夢と勇気をもって、正義のために闘う姿は、アニメというイメージを超えて人々の胸を打つ。

他に、はるか遠くの星、ファンタリオン星の美しい神秘的な女王タマラや、救いを求めて地球にやってくる異星人サバなど魅力あるキャラクターも登場する。

また、南米ペルーに残る謎の遺跡、ナスカの鳥をデザインした怪鳥型宇宙船「イシュメール」号は、今回注目のメカだ。

スタッフは、製作を渡辺亮徳、今田智憲、プロデューサー、飯島敬、そして原作・総指揮の石森章太郎のもとに、監督にTVを「銀河鉄道999」や「キャプテン・ハーロック」を手がけた明比正行、作画監督に映画「森は生きている」の山口泰弘、美術監督にTV「スタージッター」の伊藤岩光、それに脚本の中西隆三とともに「スター・ウォーズ」のジェフ・シーガルが脚本協力のかたちで参加している。

また、主題歌の作曲を「青春時代」の森田公一が担当。「野性の証明」の町田義人が歌っているのも話題のひとつである。

ストーリー

はるか数百億年前、闇の中に、とてつもない無限質量を秘めた『超存在』があった。やがてそれは超爆発を引きおこし、光と音響のうずが、一瞬のうちに暗黒空間をおおいつくしていった……『宇宙』の誕生であった。

国際宇宙研究所——そこでは、所長・コズモ博士が、その研究の途上、かつてこの宇宙を生んだ母源ともいうべき『超存在』があったことに気づき、これをボルテックスと命名していた。しかも、今もなお、それが宇宙の核として存在しつづけているのだ。もし、このボルテックスをコントロールすることができれば……その超エネルギーによって、地球のエネルギー問題など、一挙に解決できてしまうに違いなかった。コズモ博士は、そのボルテックスのコントロール理論をほぼ完成しようとしていた。

その博士のもとに、長かった「黒い幽霊」^{ブラック・ゴースト}との攻防に疲れ、今は引退したギルモア博士が、エスパーベビー・サイボーグ001とともに、身を寄せていた。009をはじめ、8人のサイボーグ戦士たちも、博士のもとをはなれ、世界の各地で、ようやく訪れた平和の時を、あるものはカー・レーサーとして、またバレリーナとして、プロ・スキーヤーや闘牛士として、それぞれの生活を幸福に送っていた。

そんなある日、突然001が敵が襲来するという警告を発した。そして、それに呼応するかのように、宇宙監視基地が謎の飛行物体をキャッチ。コズモ博士のもとに緊急連絡してきた。心ならずも、再び戦いの時が近づいてきたことを察知したギルモア博士は、世界各地に散っているサイボーグ009たちを、急ぎ呼びよせるのだった。

やがて、ギルモア博士やサイボーグ009たちの前に、異様な怪鳥の姿をした巨大な宇宙船が姿をあらわしたが、そこから降りたのは、敵ではなく、見知らぬ星・コマダー星から脱出してきたという、宇宙人の少年サバただ一人であった。そして、彼によって、サイボーグ009たちは、恐るべき敵の存在と、その陰謀を知らされるのであった。

サバの住む星・コマダー星は、地球の兄弟星ともいうべき美しい緑の星、平和の星であった。その星を、突如、ダガス星の大帝ソアの宇宙戦闘軍団が襲った。ダガス軍団は、殺りくを繰り返えし、コマダー星の文明をすべて破壊しつくし、そしてサバの父であり、コマダー星第一の宇宙科学者、コルビン博士を連れ去った。暗黒の大帝ソアは、コルビン博士がいちはやく、ボルテックス・コントロール理論を完成させたのをかぎつけていたのだ。全宇宙を征服しようと企むソアにとって、宇宙の根源核ボルテックスの超エネルギーこそ、ほしくてたまらないものだった。その暗い野望の第一歩を踏みだしたソアは

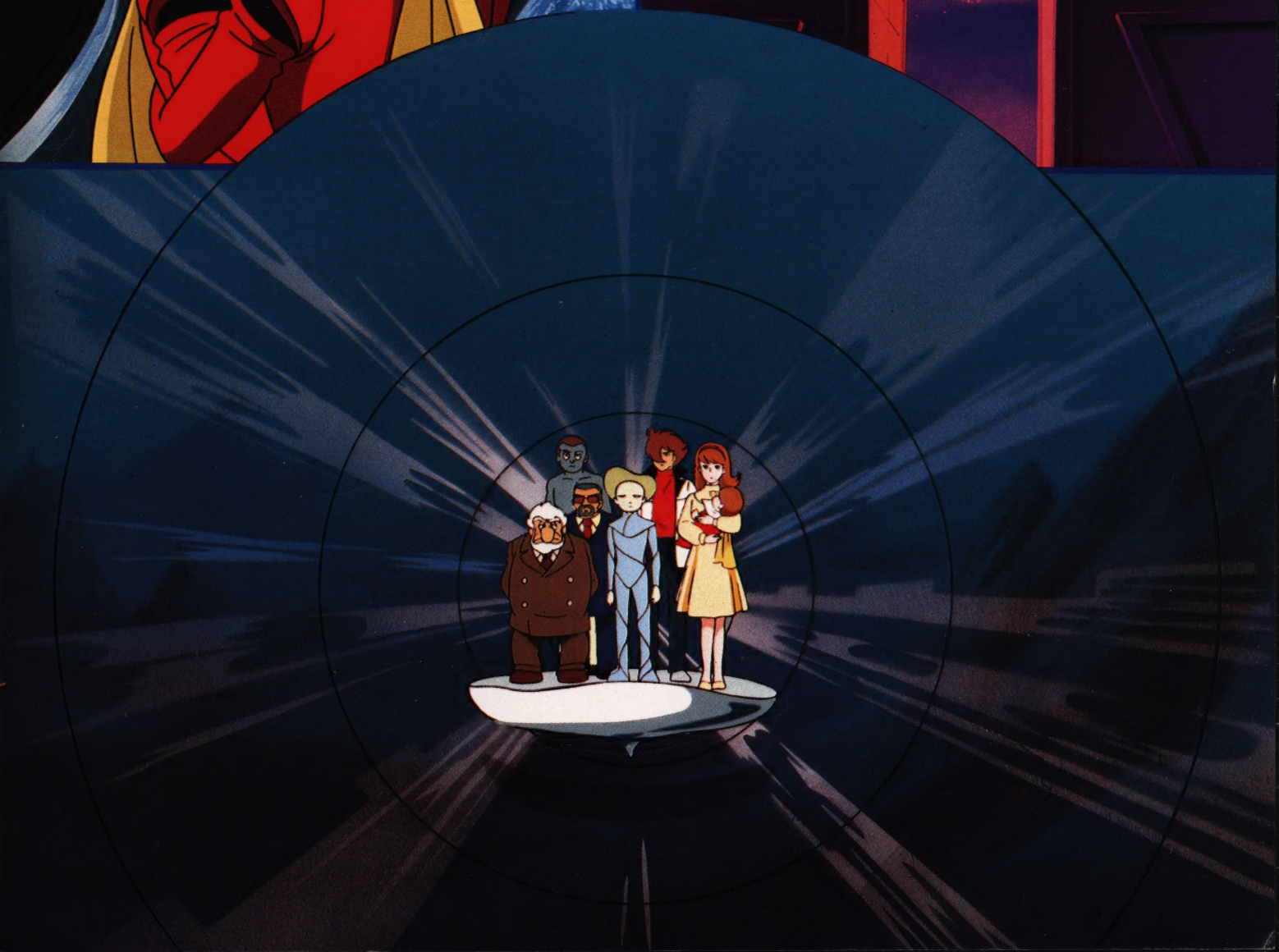
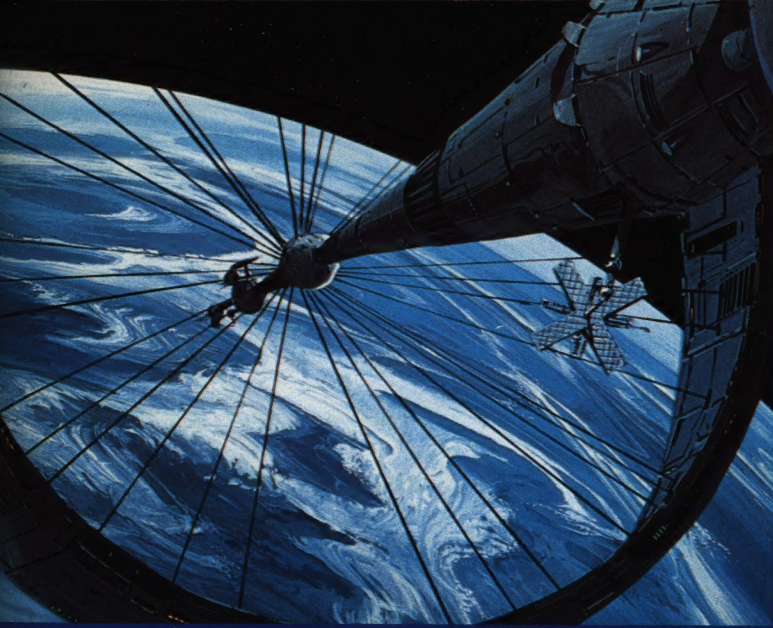
次に地球を壊滅しようと月前進基地を設け、魔手をのばしてきた。

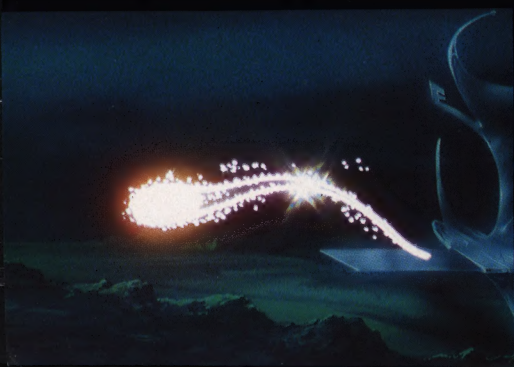
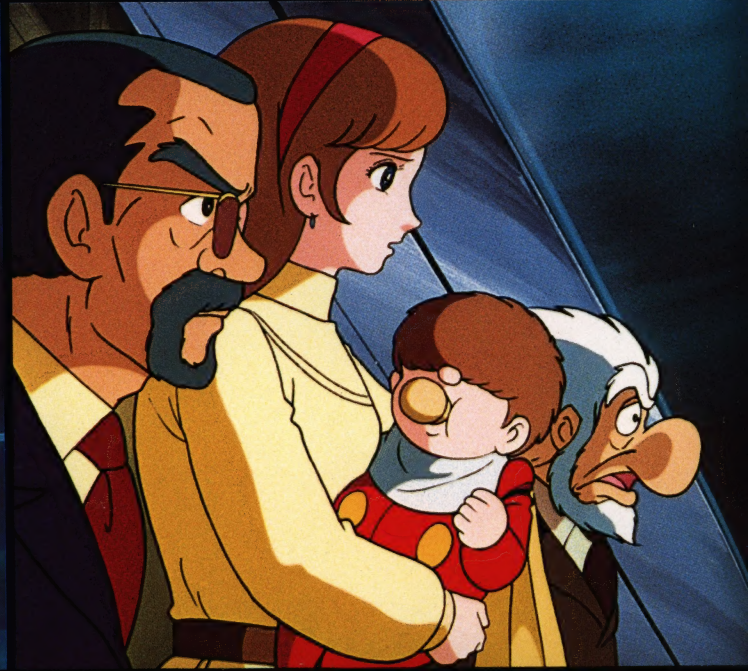
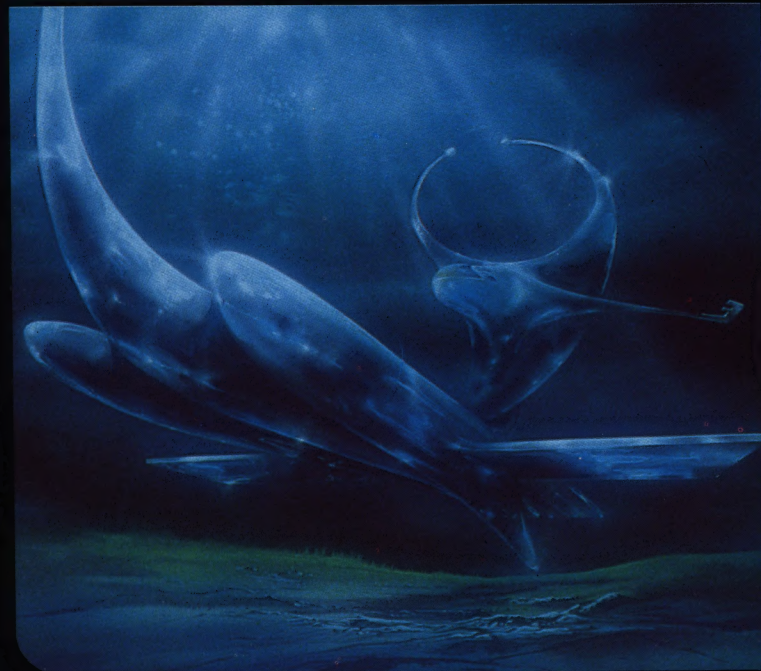
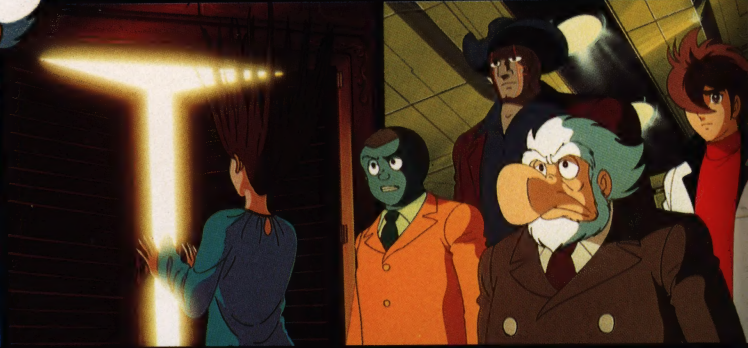
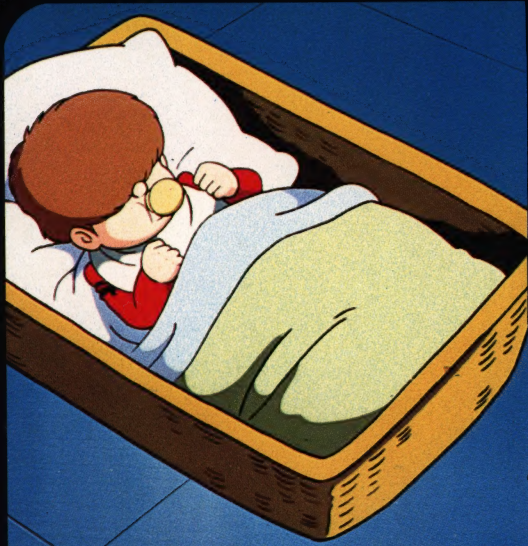
敵を目前にして、戦うべき戦闘船をもたない009たちには、サバの船を、改造し武装強化するしかない。コマダー星の宇宙船は、コズモ博士の設計により、ノバ・ミサイルを装備した『イシュメール』として、みるみる変身していった。が、完成を前に、ダガス軍団の敵将ガロの奇襲により、コズモ博士と001を月基地に奪いさられてしまった。彼らが帝王ソアのもと、カテッツ要塞星に連れて行かれれば、恐ろしいブレーン・コンピューターによって、イシュメールの性能も、サイボーグの秘密もすべて、吸いとられてしまう。すでに009たちに躊躇する時間はなかった。

地球をとびたつたイシュメールは、サバの案内により、宇宙の壮大な大トンネル、スター・ゲートをくぐりぬけ銀河系宇宙から40万光年かなたの宇宙空間にすべりこんでいった。待ちうけていた敵軍団との闘いに傷ついたイシュメールは、急ぎ、地球によく似た星・ファンタリオン星に着陸する。が、かつては高度な文明を誇ったこの星も、今は、ソアによってほろぼされ、恐竜と怪鳥の星になっていた。やがて、009たちは、巨大な一つ目怪獣・ロダックとの死闘の末、その胸のハイドロ・クリスタルのペンダントにとじこめられていたこの星の美しい女王タマラを救いだした。つかの間の出会いながら、009と深く心をかよわせたタマラは、この星にいつまでもとどまるようにと、懇願するのだった。が、再び襲来したダガス軍団は無残にもこの星を打ちくだき、そのさなかに、タマラは帰らぬ人となった。

再び発進したイシュメールは、様々な困難の末、ついに敵要塞星を、その前方にとらえたのだった。秘かに、小型シャトルで侵入した009たちは、003の透視能力に助けられ、コズモ博士と001を救い出すが、サバの父、コルビン博士はすでにその知識をすべてブレーン・タッグされ、殺されてしまっていた。そしてソアは一足はやく、ボルテックスへ向けて出発していたのだ。行手をさえぎる敵兵を射ち倒しながらソアのあとを追って要塞を脱出する009たち。だが、004はその戦いで致命傷を負って、ただ一人、要塞にとどまった。やがてその体内の小型原爆は、カテッツ要塞星とともに、大爆発するのだった。

痛恨の想いで、004の死をみとどけた009たちは、ソアへの憎しみもあらたに、その追跡を開始した。しかし、イシュメールの前には、迷い込んだら最後、二度と脱出不可能だという宇宙の迷路、スター・メイズがたちふさがっていた。ソアの船を追って、スター・メイズにイシュメールが吸い込まれて行く……果して、009 / 脱出可能か!! ボルテックスを守るのか!!





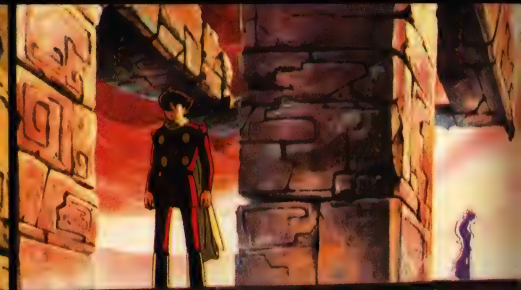
突然、地球上に襲いかかる恐怖…そこには
底知れない、巨大な敵がまちかまえている！



地球のために、愛と勇気をもって サイボーグ
戦士たちは宇宙へ…イシュメール発進！

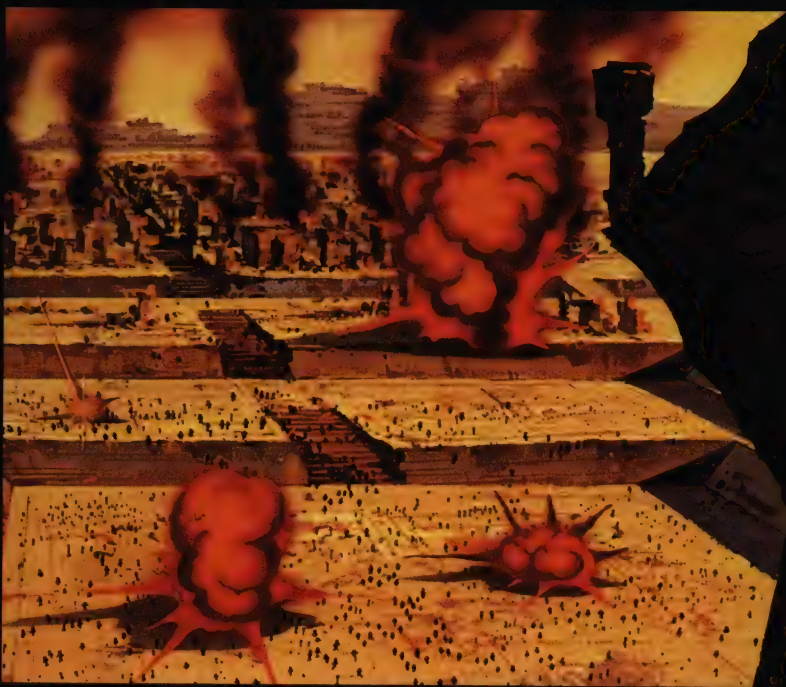






美しい星ファンタリオン星の女王
タマラとの出逢い、そして別れ…







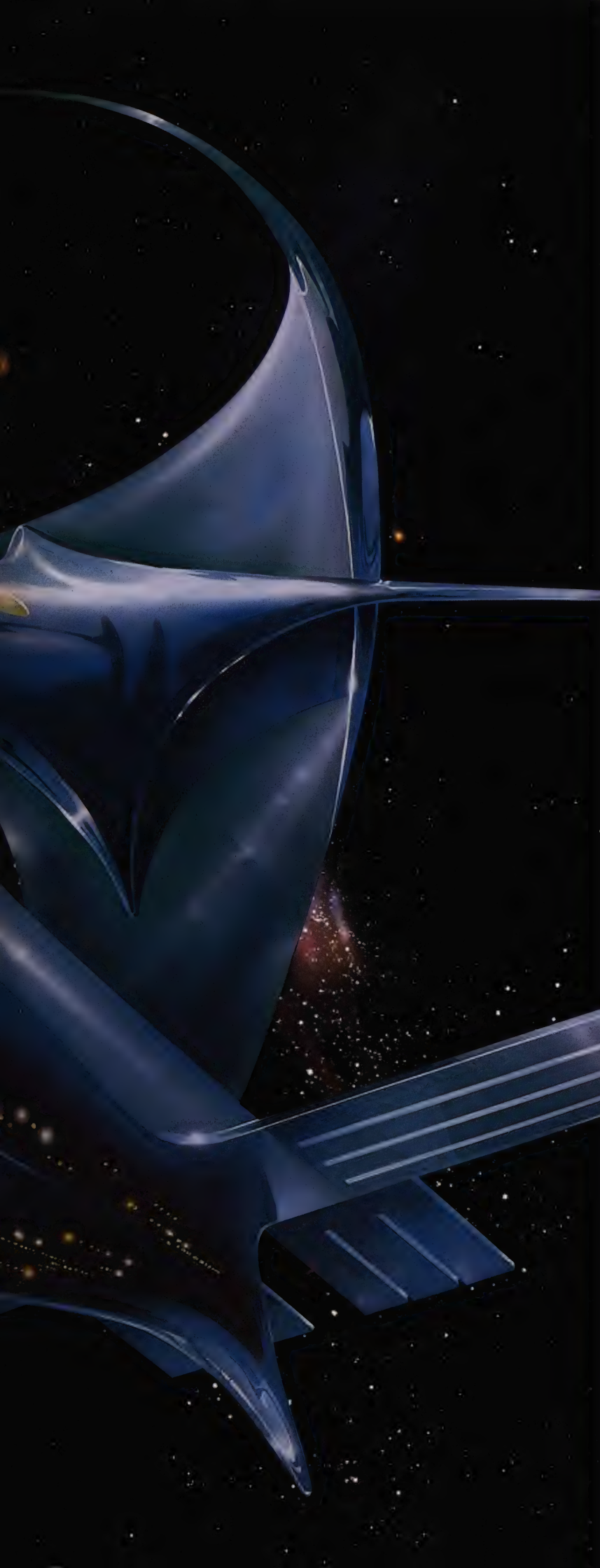
想像を絶する敵との闘い、死を賭けて
あらゆる困難をのりこえたいま、平和が甦る…

よみがえ



イシユメールの
すべて





宇宙船イシュメール

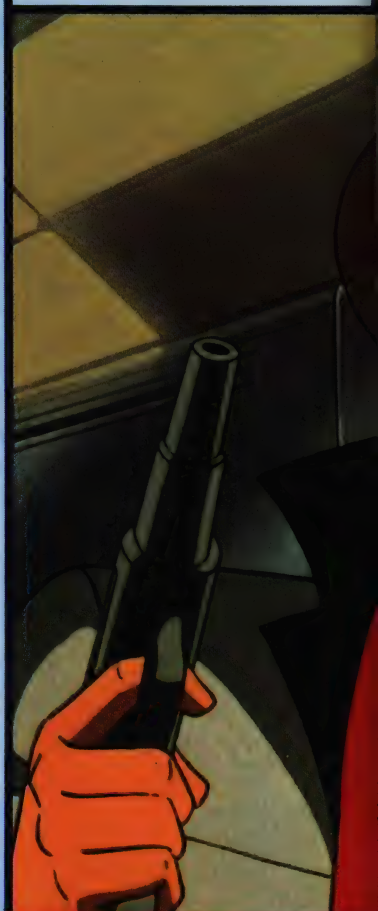
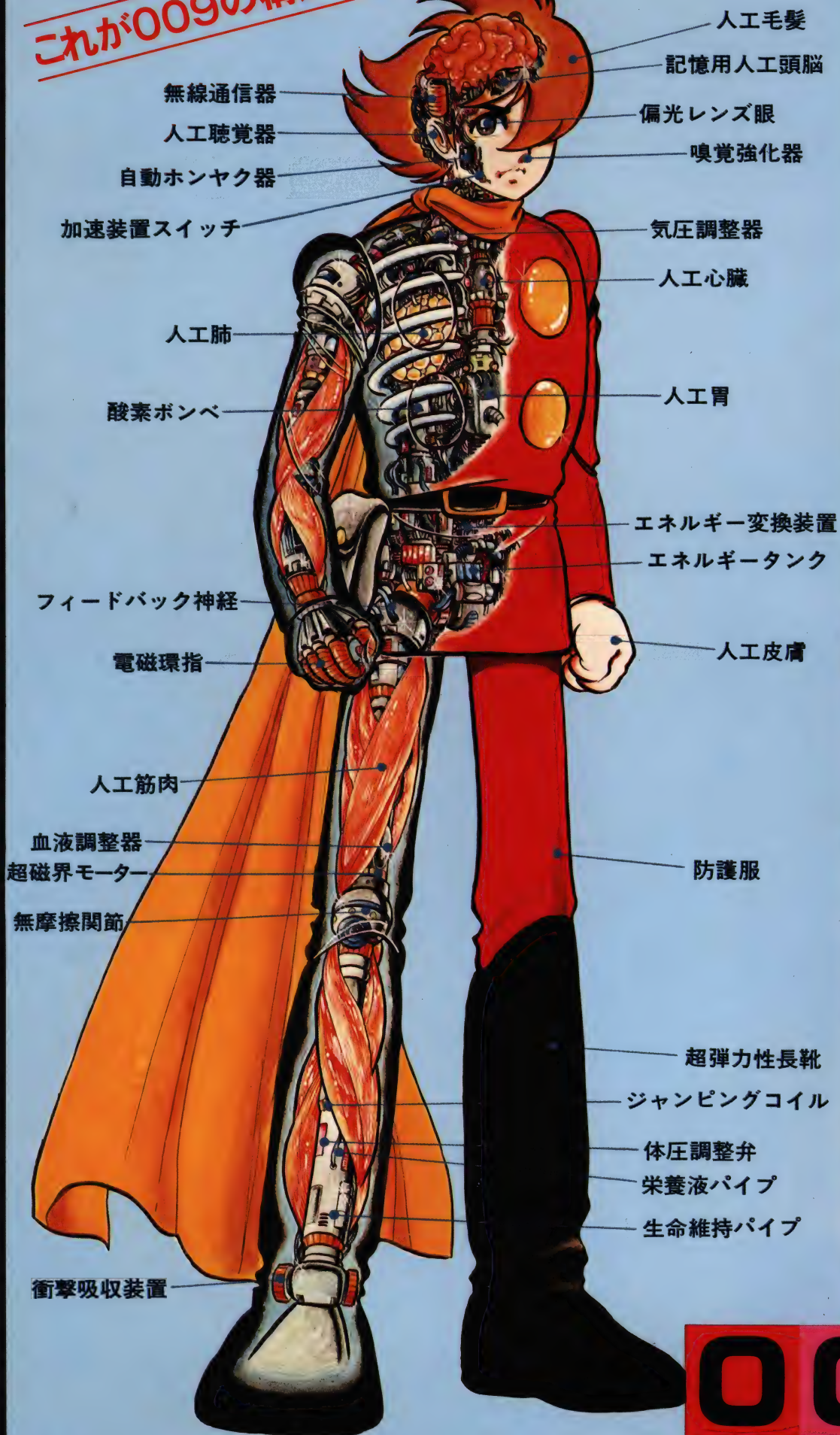
サバが乗ってきた怪鳥型宇宙船。かつて地球に飛来したナスカ型宇宙船と同型のもの。コマダー星で採取されるハイドロ・クリスタルを燃料とする、ハイドロ・クリスタル・エンジンがその動力源だ。ダガス星ゾアとの戦闘にそなえて、コズモ博士により武装強化される。敵の恐ろしい武器、神経組織破壊レーザーを防御する強力な特殊コーティングがほどこされ、又、主砲超大型ノバ・ミサイルが装置された。

要塞と メカ敵





これが009の構造だ！



009解



割図ポーズ集

and

魅力の登場

009(島村ジョー)

水中でも行動でき、暗闇でも目がみえる。強化皮フを持ち、力は50人分。001から008までのすぐれた機能をあわせもつ、他のだれよりも優秀なサイボーグ。奥歯のよこについている加速スイッチを舌でおすと、マッハ3のスピードが出せる加速装置を備えている。戦うことに疑問を感じながらも、平和の来る日を祈って戦いつづける心やさしい青年。出身は日本。



001(イワン・ウィスキー) 002(ジェット・リンク)

あだ名は電子頭脳。サイボーグ・メンバーの中枢とも言えるすぐれた頭脳を持ち、テレパシーでメンバーと会話を交す。精神力で物体を瞬間的に移動させるテレポーテーション(精神感応移動)、精神力により物や人を動かすテレキネシス、また催眠術や未来予知などの超能力がある。ソ連出身。



足には大空を自由に飛び回ることでできるジェット噴射装置をもっている誰よりも速い男。気の短かさも仲間うちでは一番。アメリカ出身。



006(張々湖) チャンチャンコ

口から熱線をはき、岩や鋼鉄をとかし、どこへでももぐり込める。戦闘中にも料理をして、メンバーにエネルギーを提供するコック。性格は、物事を深く考えることはせず、ひょうひょうと過すタイプ。中国出身。



007(グレート・ブリテン)

細胞の組織構成を変化させ、人間だけでなく、さまざまなものに姿をかえ、時には巨人になることもできる。悲観的なところがある反面おどけたりドジであったりして、仲間を笑わせてくれる。イギリス出身。



サバ

ボルテックスのコントロール理論を、コスモ博士と時を同じくして完成させた、コマダ一星第一の宇宙科学者コルビン博士の子。

父を救うため、サイボーグ・メンバーと行動を共にする。



タマラ

ファンタリオン・メジャー星の女王。テレポーテーション(精神感応移動)、自らの姿を三次元投影させる超能力をもつ。しかし今、大神殿の中、口ダックの胸のハイドロ・クリスタル・ペンダントに、とらわれの身となっている。009を知り、想いを寄せる。



キャラクター

003 (フランスワーズ・アルヌール)

50キロ四方の物音を聞き分ける耳、厚い壁を透して遠方のものを見られる眼をもっている。戦いよりは安らぎを、戦闘服よりは愛を望む可憐なサイボーグ唯一の女性。フランス出身。



004 (アルベルト・ハインリヒ)

右手は機関銃、左手は鋭いナイフ、その指はダート、腕のひじ、足のひざからは一発で戦車を破壊できるほどの超小型ミサイル、そして体の中には核爆弾をもつ、全身武器の破壊用サイボーグ。ヒンクつぽい男だが、人人を愛する温かい心をもっている。ドイツ出身。



005 (ジェロニモ・ジュニア)

鋼鉄の球を両手でもみつぶし、戦車さえ軽々と持ち上げる怪力の持ち主。皮フは砲弾をはじき返すほどに強化された鋼鉄製で、不死身に近いサイボーグ。気はやさしく、無口な大男。アメリカ出身。



008 (ピュンマ)

特殊な酸素製造ボンベ、魚のエラと同じ機能をもつ装置、深海の圧力にも耐えられる身体をもつ。水中では、サメよりも速く、トビウオのようにはねて泳ぐこともできる。自分の黒い肌に誇りを持つ博識の男。アフリカ出身。

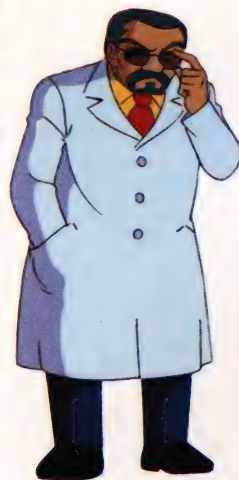


アイザック・ギルモア博士 コズモ博士

すぐれた未来の人間をつくるため、サイボーグを造った天才科学者。元、ブラック・ゴーストの科学者だったが、世界征服の野望を知り、9人のサイボーグをつれて脱出した。サイボーグたちの取りまとめ役。今は001をあやす日々を送っている。



国際宇宙研究所長。宇宙の中心にある超エネルギー・ボルテックスのコントロール理論を完成させた科学者。真理探求の情熱をもつ。



ガロ

ダガス軍団・第一戦闘軍団長。悪の帝王ソアの配下。神経組織破壊ビームなど、強力な戦力をもつ。



ゾア

全宇宙征服をねらうダガス星の悪の帝王。宇宙基地・カデッツ要塞星を本拠に、ダガス軍団をあやつり、侵略を続ける。



ロダック

ゾアガファンタリオン星に送り込んだ監視役。目から火を出し、巨大な三本指で人をつかんで口に放り込み食べてしまうサイクロップス（一つ眼巨人）。



* これだけ知っていれば

きみは、もうサイボー

◎ボルテックス

無限の質量を持つ超存在。百数十億年前、この超エネルギー体の大爆発により〈宇宙〉が誕生した。今もなお、大宇宙の核として、脈々と鼓動し続けている。しかし、その真の姿をみたものは、まだ誰もいない。

◎スター・ゲート

宇宙空間にいくつか存在する超次元空間。この空間と空間の

ひずみである、スターゲートを通過すれば、ワープ航法をおこなった場合と同じ効果で、何十万光年もの宇宙飛行が一挙に可能になる。

◎スター・メイズ

宇宙のサルガッソ海ともいうべき、恐ろしい迷路。一旦入りこむと、永久に脱出不可能といわれ、何がそこにまちうけているかわからないのだ。ボルテックスは、この迷路の果てにある。

◎コマダー星

銀河系宇宙はるかかなたの星だが、地球に環境が非常によく似ている、いわば兄弟星である。文明も高度に発達していて、かつて地球に宇宙探検隊を派遣してきたこともある。その時の宇宙船をかたどったものこそが、あの南米ペルーの謎の遺跡ナスカであった。

◎エアートンネル

海中や真空中を通行するため、莫大な空気圧を使って人工的につくる通路。トンネルの中は地上と同じ、気圧、環境に保たれているので大変に便利。イシュメールにはこのエア・トンネル装置が装備されている。

◎ファンタリオン星

コマダー星同様、地球に非常によく似た環境の星。かつては高度な文明を誇っていたが、ダガス軍団に侵略されて以来、恐龍と怪鳥の原始の星と化してしまった。今では、ゾアの送

エアートンネル



サイボーグ CYBORG とは

サイボーグとは、医学的に人体を改造して、人工内臓や人工器管をつけてつくられた〈改造人間〉である。最近よく使われるバイオニックという用語も、サイボーグの同義語である。その原点は、古くギリシア神話までさかのぼることができるというが、SF世界や科学のなかに、このアイデアが登場したのは、比較的新しい。宇宙時代をむかえて、宇宙空間という難環境に人間が対応し、作業するために考えられ、発展してきたのがサイボーグの理念であった。この宇宙時代の申し子サイボーグを日本に初めて紹介したのが石森章太郎の「サイボーグ009」であり、1964年にこれが登場すると、一躍センセーショナルなブームを引き起こした。この作品がなければ、この耳なれない特殊用語が、日本に紹介されることも、又、広く知られることもなかったであろうが、以降、日本SF界やアニメに、多くのサイボーグものが登場することになる。

人体のごく限られた部分に人工器管をくみこんで、手足や

目、耳などの機能をパワーアップさせるものから、体全体を、人工内臓にかえ、人工皮膚で包んだ高度なものまで、サイボーグには様々な段階があるが、忘れてならないのは、どれも人間の（時には動物の場合もあるが）頭脳を持っている点である。人間としての記憶、判断力、感情を持っている点が、いわゆるロボットやアンドロイド（人間型ロボット）とは根本的に違う点である。高度に発達したサイボーグとアンドロイドは、しばしば、その能力や形態において、非常に似ているのだが、本質的には両極のものだといえる。こうやって人間でありながらより機械に近づいていく、人間の心をもちながら機械そのものなのではないか、というサイボーグたちの悲哀や苦悩は、「サイボーグ009」でも、よく描きこまれているが、サイボーグもの共通のモチーフの一つなのだ。そして、人工心臓をはじめとする人工臓器の研究の進境も著しい現代、我々にとって、サイボーグ・テーマは単なる空想ではない。

グ博士だ！

りこんだーッ目巨人・ロダックに女王タマラを囚にされ、ファンタリオン星人は奴隷の生活を送っている。

◎ブレイン・コンピューター

人間の頭脳に、このコンピューターを直結すると、一瞬にして、その人間のもつ情報や思考がブレイン・タッグ（採取）される。頭脳から、コンピューターに直接インプットされるわけだ。これこそダガス星のゾアが、その性能を誇る恐るべきコンピューターだ。

◎テレポーテーション(精神感応移動)

精神力によって物体や人が空間を瞬間的に移動すること。多くの超能力者（エスパー）に、又、脳の改造手術を受けている001にも、この能力がそなわっている。

◎加速移動

009の改造能力の一つ、奥歯のスイッチを入れると、瞬間マッハ3までのスピードで行動できる。加速すると、通常の人間では009の姿を確認できなくなり、又、009は敵を倒すのだ。

◎ホログラフィ

三次元投影。あたかもそこに物体が存在するかに見える立体影像。暗黒の帝王ゾアはこれを使って、しばしば009たちの目をまどわす。



テレポーテーション



サイボーグの登場する作品

1、SF小説

不老不死のプロジェクト(ロバート・シルヴァーバーグ)
ドウェル教授の首(A・ベリアーエフ)
キャプテン・フューチャー・シリーズ(エドモンド・ハミルトン)
海底牧場(アーサー・C・クラーク)
宇宙兵ブルース(ハリィ・ハリスン)
ターミナル・マン(マイケル・クライトン)
ドノヴァンの脳髄(カート・シオドマク)
都市(C・D・シマック)
宇宙年代記シリーズ(光瀬龍)
わが赴くは蒼き大地(田中光三)
サイボーグ・ブルース(平井和正)
8ワールド・シリーズ(J・ヴァーリィ)

2、TVアニメーション(日本)

| | |
|--------------|--------------|
| 宇宙パトロール・ホッパー | 宇宙少年ソラン |
| 鋼鉄ジグ | マグネロボ=ガ★キーン |
| 氷河戦士ガイスラッガー | SF西遊記スタージンガー |
| ガッチャマンII | ムーの白鯨 |

3、TVドラマ

| | |
|----------------|----------------|
| 仮面ライダー・シリーズ(日) | 鉄人タイガーセブン(日) |
| 600万ドルの男(米) | バイオニック・ジェミー(米) |

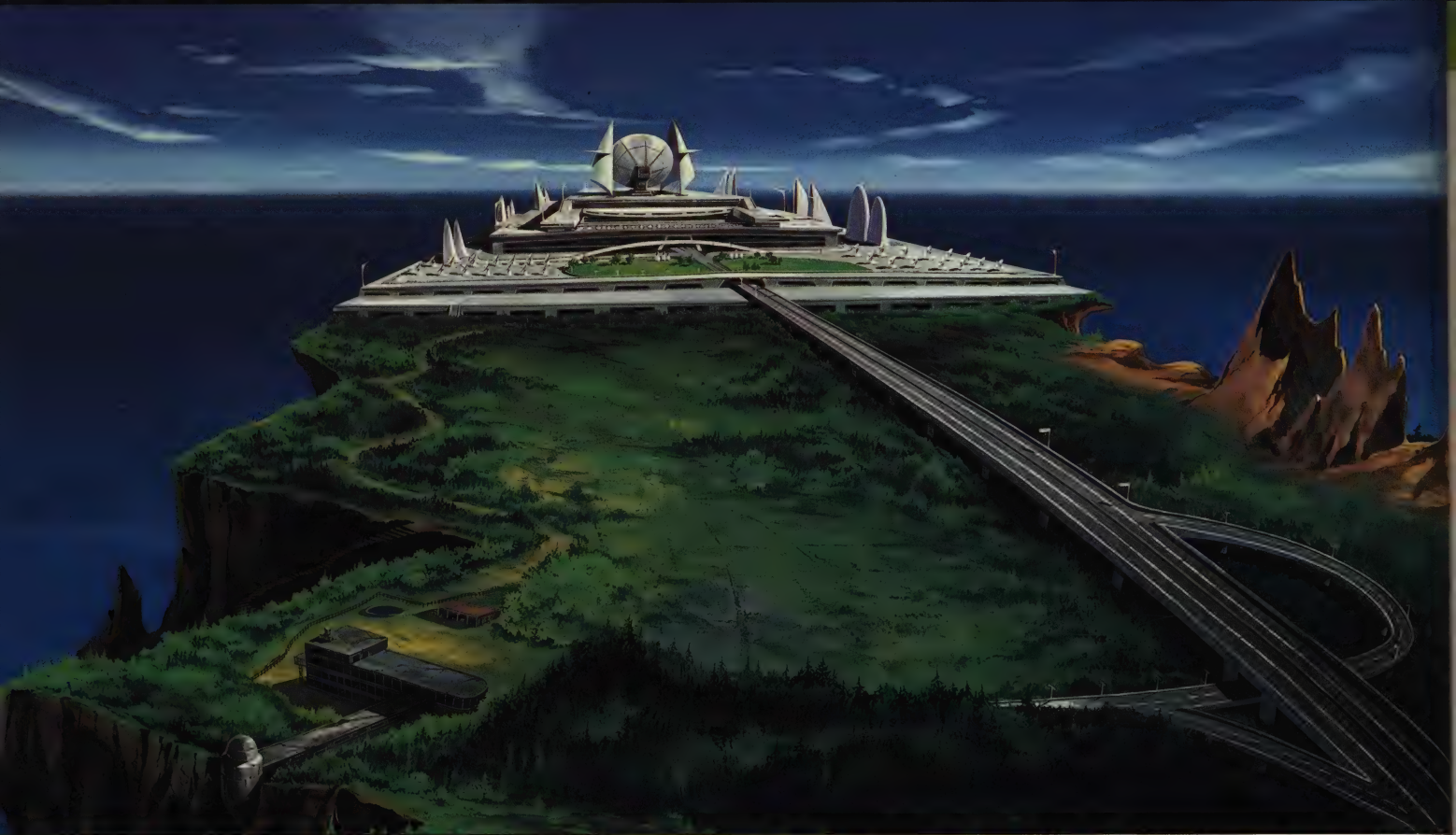
サイボーグ 009の 歴史



| | |
|----------|---|
| S 39. 7 | 少年キング連載開始(→S 40. 9) ※別冊少年キング・少年マガジン |
| S 41. 7 | 映画第一作「サイボーグ009」 少年マガジン連載(→S 42. 3) ※別冊少年マガジン |
| S 42. 3 | 映画第二作「怪獣戦争」 |
| S 42. 5 | 冒険王連載(→S 44. 6) |
| S 43. 4 | TVシリーズ開始(→S 43. 9) |
| S 44. 10 | COM連載(→S 45. 12) <small>休刊のため中断</small> |
| S 50. 9 | ※少女コミック短編「風の都」で再開 以降、少女コミック・月刊少年ジャンプ・プレイコミック他に短編掲載 |
| S 52. 2 | マンガ少年連載(→S 54. 8) |
| S 54. 2 | ニッポン放送でラジオ・ドラマ化 |
| S 54. 3 | TV新シリーズ開始(→S 55. 3) 少年サンデー連載(→) |
| S 54. 4 | まんがくん連載(→) |

()内は連載終了

※=単発掲載



製作こぼれ話

《宇宙空間の神秘性を表わす特撮に挑戦!》

■光と影の世界

「サイボーグ009・超銀河伝説」は全篇の90%以上に透過光を用い、今までのアニメーションでは考えられない、光と映像の巨大宇宙を表現している。実写、スキャニメーション、そしてアニメーション自らの限界を打ちやぶっている。今までのアニメーションが形や色に注目しているのに対して、この映画では形になっていないもの、光、影、スピード感、奥行きをその表現の目的としている。

例えばイシュメールの素材、クリスタルの透明な素材の質感を出すため、その特徴である反射光を透過光によって表現し、透明感を出している。この透過光もイシュメールが動くにつれて変化するというようなこりようだ。

また、特に注目されるのが、スター・ゲート、スター・メイズ、ボルテックスのシーン。これらのシーンは、皆光のみの世界といってもいい程。これらの特殊効果は、二百数十にも及ぶ素材の検討から始まり、時には牛乳びんや、一升びんの底をくり抜いて光彩テストなどが行なわれ、ガラスメーカーの協力を得て、スキャニメーションを超える無限の宇宙の奥行き、奔流の如く流れる異次空間の巨大な光彩の流動、スピードと色彩の臨場感の表現に成功した。

■設定・背景

今回現実のイメージ、リアルさを出すために、様々な工夫がなされている。その一つには、今まで宇宙空といったものはすべて青い空のような空間であったのを、科学的根拠に基づいて、奥深い宇宙の神秘性を出すために、黒を基調とした宇宙空に仕上げた。

また、リアリティー、スケール感を出すために、虫メガネと特注の筆を使用して描いた背景。一センチメートル四方という小さなスペースに、なんと10数個の部品を描き込むという熱の入れよう。

設定においても今までのアニメにありがちだった不自然であった肌の色を忠実に出すため、5パターンの色見本を作成し、10数回のフィルムテストを重ねた。これは中間色を使用した場合セルの色とフィルムの状態が可成異なるためで、ここにもスタッフの真剣さがうかがわれる。



■「スター・ウォーズ」の脚本家

ジェフ・シーガルも参加!

SF 娯楽作品「スター・ウォーズ」の知恵とアイデアを吸収し、更におもしろい仕掛けとストーリーを構成するため、ジェフ・シーガルに脚本協力を要請した。彼は意表をついたストーリー展開で話題になった「カプリコン1」のクリエイティブ・コンサルタント、また「スター・ウォーズ」のライターとしても名を連ねている人物である。

ジェフ・シーガルは、9人のサイボーグ・メンバーの独特なキャラクターに大いに興味を示し、2週間の間に8本ものシナリオ構成案を作ってきた。さっそく、スタッフの検討が開始され、原作者・石森章太郎氏、シナリオライター・中西隆三氏が参加して、3ヶ月にわたる会議がもたれ、大激論がくり返され、未だかつてない大スケールのドラマが完成した。



■大盛況の製作発表記者会見

'80年10月20日、丸ノ内・東京会館で行なわれた記者会見、会場には300人という前代未聞の記者団が詰めかけ、予告編の上映、主題歌披露、質疑応答などが行なわれたが、この日に向けてスタッフは大忙しの毎日。

まずは出席者のスケジュールおさえから始まった。いちばん忙しい石森章太郎氏は、2ヶ月も前から時間おさえをしたほど。そして町田義人氏、森田公一氏のスケジュールおさえてんやわんやの毎日が続いた。

また、会場に迫力のイシュメールを飾ろうというアイデアが出て、急きょガラスメーカーやポリエステル業者などの検討が開始され、ケンケンガクガクの末、氷で作るのが一番という結論。やっとさぐり当てたのが東京の彫刻家。10日前から冷凍庫の中で作業が進められ、記者会見当日の昼すぎ3メートルにも及ぶ氷のイシュメールが現われた。しかし、記者団の熱気で、50万円もする氷の彫刻は、たったの1時間半でとけてしまった。

会場でのもう一つの話は、全国から集めたキュートなサイボーグガール。超ミニのスカートで色気を振りまいたが会場は正月娯楽大作にふさわしい雰囲気がいっぱいだった。

■国際色豊かな009ガールズの登場

映画の宣伝キャンペーンのため、009メンバーにちなんで9人のサイボーグガールを結成することになった。日本人4人に外国人のカワイ子ちゃん5人、それぞれのキャラクターにあわせて、イタリア系・ドイツ系・フランス系・イギリス系・黒人とのハーフなどを選んだ。集めるのが大変で、あちこちのモデルクラブから外国語学校まで走りまわってかき集めた、いずれも年は15~16才のキュートな女の子達だ。日本語はまるでダメだが、特訓のかいあって「いらっしやい」「こんにちわ」「どうもありがとう」と、あいそよろしくまずまず。彼女達の衣装も1着10万円、ブーツ3万円、9人でしめて117万円なりの超豪華版!映画公開前には全国をまわって大活躍の毎日だったから、彼女たちを見かけた人もいるでしょう?。





白石冬美

(001・イワン・ウィスキー)

私の仕事の中で001役が、最年少の役でしょう。あだなを電子頭脳、とても頭がよくてテレパシーでメンバーと会話を交すことの出来る超能力ベビー、この001役を私は大好きです。

力を合わせて何かをやりとげるということは、とても素晴らしい事だと思います。完全なスーパースターひとりよりも、009メンバーのように自分の特技を生かし助け合って戦う姿はとても美しいですね。



野田圭一

(002・ジェット・リンク)

国際色豊かなメンバーの中での002はアメリカ人なので、これぞアメリカンというイメージを出すように心がけています。日本人である私がどれだけヤンキー気質のジェット・リンクに近づけるかに一番気を使いました。

技術的にも内容的にも、アニメのイメージをはるかに超えた傑作に仕上がった009、私も常に勉強してアニメに強くなりファンの質問にいつでも答えられるようにすることが、作品を理解してもらえるコツだと思います。



杉山佳寿子

(003・フランソワーズ・アルヌール)

私の役は、石森先生の理想の女性像だといわれる003なんです。とてもうれしくもありますが、先生のイメージをこわさずに務められるかとても心配です。

003という女性には、愛の原点というか母なる大地というか、全てを受け入れてくれるというような、とても抱擁力のある女性です。そんな彼女をどこまで表現できるか、腕の見せどころといったところです。



山田俊司

(004・アルベルト・ハインリヒ)

ニヒルな004に比べて、私の方が少し3枚目だと思っています。どんな困難にもガッツなチームワークでぶつかって行く9人のメンバーに見なると、他のスタッフの人達と力を合せていい作品に仕上げました。

ストーリーの中で一度死にますが、仲間のために犠牲になって死ぬ死には少しカッコ良くて嫌いではありません。ファンのみなさんには納得していただける作品であると信じています。



田中 崇

(005・ジェロニモ・ジュニア)

別々の能力を持つ9人が集まり、各自の能力で協力しあいながらチームプレイの中で発揮していくのが魅力です。改造され半分だけ人間であるゆえの苦悩、悲しみが彼らをより人間くさいものにしています。そんなところが009の魅力でもあり私の好きな部分です。誇り高いインディアンをひく無口で自分の意志を口先でなく行動で表わす005は、私の心の友達でもあり大好きなキャラクターです。



原作・総指揮

石森 章太郎

昭和13年1月25日、宮城県に生まれる。

父親の書庫の中で雑誌や単行本を、また目にふれる漫画をかたっぱしから読むといった、好奇心の旺盛な、本好きの少年であった。小学校上級の時、映画にも興味をもつようになり、4キロも離れた映画館にも毎日のように通うといった、ディズニー、黒沢作品の好きな映画好きがいてあった。

中学2年のとき、なんの気なしに応募した4コママンガが毎日中学生新聞に入選し、これがきっかけとなり、マンガの世界に入り込むようになった。親の眼をぬすんでは夜が明けるまでペンを握るといった、マンガ生活が始まったのもこの頃であり、「漫画少年」には毎号のように入選するようになった。また、東日本漫画研究会を結成し、同人誌「墨汁一滴」を始めるに到った。

昭和30年、手塚治虫氏の紹介により、デビュー作『二級天使』を「漫画少年」に連載開始。弱冠17才の高校生である。高校卒業と同時に上京。少女マンガの連載、藤子不二雄氏、赤塚不二夫氏などとのトキワ荘時代を過ごす。

昭和39年、代表作『サイボーグ009』を「少年キング」に連載。この頃には、すでに年間20本以上の作品を発表し続け、そのジャンルもSF、冒険、ファンタジー、ミステリー、時代もの、少女マンガ、ギャグなど、あらゆる分野にわたっている。どんなジャンルの作品でも、その底にはヒューマンな、暖かい人間の愛情が流れている名作が多い。

代表作には『幽霊船』(昭35)、『ミュータントサブ』(昭36)、『佐武と市捕物控』(昭41)、『仮面ライダー』(昭41)などがある。また、『サイボーグ009』、『佐武と市捕物控』をはじめ映像化されたものも多く、その数も30作品にものほる。昭和42年、『サイボーグ009』『ミュータントサブ』で講談社児童まんが賞を、同43年に『佐武と市捕物控』『ファンタジーワールド「ジョン」』で小学館漫画賞をそれぞれ受賞。



はせ さん治

(006●張々湖)

映画の中の006と私は、性格も3枚目的なところも似ていると思います、まさに一心同体なんです。ですから今回は劇場用ということもあって、いままでの006の中でも最高の出来ばえにするために努力の限りを尽したつもりです。

ストーリーの後半は火を吹くだけで少々影はうすくなりますが、前半では強敵をやっつけるまでをコメディを中心に大活躍しますのでファンみなさん、期待するアルヨ！



肝付兼太

(007●グレート・ブリテン)

常識をはるかに越えたスケールのデッカイ作品で満足しています。9人のメンバーの中での私007は、006と共に3枚目の役ですので、協力し合ってファンの方々にユーモアの極致をお見せいたします。

洋画の007のジェームズ・ボンドと同じナンバーなので自分でも気にいってます。あちらは2枚目、こちらは3枚目。しかしスケールの大きさも、役の上でもボンドに負けないように一生懸命演技してみました。



曽我部和行

(008●ピュンマ)

009のドラマには今回が初めての参加ということもあって、私自身ストーリー・設定その他についてもまったくと言っていいほど知りませんでした。でも台本を読んだ瞬間にこれはイケルと思いました。スケールといいアイデアといい、まったく新しい物に思えたからです。メンバー1人々が個性豊かなキャラクターなので、その中で自分の感じた明るくて純粋な008の役を、大切に演じたいと思っています。



井上和彦

(009●島村ジョー)

僕にとって009・島村ジョーというのは切り離せないキャラクターです。島村ジョーは僕であり、僕は島村ジョーであるという感じがします。

ジョーらしさというのは、すごく強いところとやさしいところが同居しているところにあると思います。そんな人間臭さというか、人間としての厚みをもった性格が魅力です。ともかく、劇場の大スクリーンに僕の思った通りを全てぶつけてみたいですね！



鈴木弘子

(タマラ)

想像していたよりもはるかにすばらしい作品の仕上りに大変感動しています。実は、私にとっての初めてのアニメーションとしての仕事が009シリーズでした。3年前には、003を演じたこともある思い出深い作品です。009シリーズは、石森先生がライフワークとして考えていらっしやるだけあって、テーマも明解でそれぞれのキャラクターの個性もはっきりと表現されているすばらしい作品です。

●スタッフ

| | |
|---------|-----------|
| 製作 | 渡辺 亮徳 |
| " | 今田 智憲 |
| 原作・総指揮 | 石森 章太郎 |
| 企画 | 飯島 敬 |
| " | 小湊 洋市 |
| 製作担当 | 横井 三郎 |
| 脚本 | 中西 隆三 |
| 脚本協力 | ジェフ・シーガル |
| 作画監督 | 山口 泰弘 |
| メカ作画監督 | 角田 紘一 |
| 撮影監督 | 池田 重好 |
| " | 細田 民男 |
| 美術監督 | 伊藤 岩光 |
| " | 海老沢 一男 |
| 美術総設定 | 角田 紘一 |
| 音楽 | すぎやま こういち |
| 監督 | 明比 正行 |
| 原画 | 堀川 留子 |
| " | 真鍋 譲二 |
| " | 沼尻 一彦 |
| " | 宇田川 利孝 |
| " | 森村 孝宗 |
| " | 落合 正三 |
| " | 小泉 伊巧 |
| " | 金田 栄司 |
| " | 上村 栄司 |
| " | 木下 ゆうき |
| " | 鍋島 修光 |
| " | 小柴 重茂 |
| " | 的場 達児 |
| " | 木野 洸児 |
| 動画チェッカー | 宮川 清年 |
| " | 青井 進之介 |
| " | 草間 靖博 |
| 動画 | 名倉 美和子 |
| " | 渡辺 裕子 |
| " | 成川 子一 |
| " | 藤井 秀敏 |
| " | 藤原 英敏 |
| " | 大森 厚生 |
| " | 池羽 敏明 |
| " | 小林 隆雄 |
| " | 坂野 嘉信 |
| " | 薄田 照夫 |
| " | 服部 穂緒 |
| " | 石山 洋子 |
| " | 牧野 竜夫 |
| " | 柳野 房子 |
| " | 梅園 啓子 |
| " | 松村 良子 |
| " | 加藤 茂々子 |
| " | 上野 浩美 |
| " | 飯田 美恵子 |
| " | 斉木 友子 |
| " | 南 弥生 |
| " | 鈴木 文子 |
| " | 林 上洋子 |
| " | 村 恭子 |
| " | 佐藤 水穂 |
| " | 伊藤 久美子 |
| " | 茂木 |

| | |
|------------|-------------|
| トレース | 奥西 紀美代 |
| " | 黒沢 和子 |
| 彩色 | 山田 純子 |
| " | 阿部 慶子 |
| ゼログラフ | 茂木 明子 |
| " | 戸塚 友子 |
| 特殊効果 | 塚合 昇二 |
| " | 佐藤 章正 |
| 仕上検査 | 小椋 博徳 |
| " | 森田 明俊 |
| 仕上進行 | 松原 俊成 |
| 背景 | 野崎 光祐 |
| " | 牧野 林威 |
| " | 小脇 健治 |
| " | 脇本 昭一郎 |
| " | 杉浦 祐三 |
| " | 池田 垣好 |
| " | 石垣 由美子 |
| " | 山崎 武也 |
| 美術進行 | 鳥本 達孝 |
| " | 服部 泰鴻 |
| 監督助手 | 吉沢 健吉 |
| " | 安下 雅晴 |
| 製作進行 | 松脇 重好 |
| " | 奥田 民男 |
| 撮影 | 池田 豊勲 |
| " | 細蔵 種吉 |
| 編集 | 干野 関昭彦 |
| 録音 | 波多 松田陽子 |
| " | 今松 石 |
| 音響効果 | 松田 陽子 |
| 記録 | 黒石 陽子 |
| 録音スタジオ | タバック |
| 現像 | 東映 化学 |
| 宣伝 | 徳山 雅也 |
| " | 野口 敦夫 |
| " | 浅川 恭行 |
| " | 橋本 悦雄 |
| " | 馬場 晶子 |
| デザイン・レイアウト | 原 美恵子 |
| プログラム構成 | 池羽 規夫 |
| 宣伝 | 株式会社メイジャー |
| 製作 | 東映動画株式会社 |
| 配給 | 東映株式会社 |
| 主題歌 | 「10億光年の愛」 |
| 挿入歌 | 「さらばとは言わない」 |

作詞 山上 路夫
作曲 森田 公一
歌 町田 義人

「愛はまぼろし」
作詞 山上 路夫
作曲 森田 公一
歌 山本百合子

「この星の上で」
作詞 山上 路夫
作曲 浜 圭介
歌 山本百合子

オリジナル・サウンドトラック……コロムビア・レコード

●キャスト

| | |
|-----|-----------|
| 001 | 白 石 冬 美 |
| 002 | 野 田 圭 一 |
| 003 | 杉 山 佳 寿 子 |
| 004 | 山 田 俊 司 |
| 005 | 中 崇 |
| 006 | は せ さん治 |
| 007 | 肝 付 兼 太 |
| 008 | 曾 我 部 和 行 |

| | |
|--------|-----------|
| 009 | 井 上 和 彦 |
| タマラ | 鈴 木 弘 子 |
| ギルモア博士 | 八 奈 見 乗 児 |
| コズモ博士 | 永 井 一 郎 |
| サバ | 小 原 乃 梨 子 |
| ゾア | 大 平 透 |
| ガロ | 大 塚 周 夫 |

「天才バカボン」の赤塚不二夫氏

石森氏の描く主人公には、女性ファンが多いけれど、それは自分の理想の男性を作品の中に見ているからかも知れない。特に009には女性ファンが多く、それが大スクリーンに登場するのはうれしい。

「ベルサイユのばら」の池田理代子さん

石森氏の作品には哀しみのヒューマニズムが流れています。これ程すばらしい作品が、今やっと長編アニメーションになるということが、むしろ遅過ぎたような気がします。

「子連れ狼」の小池一夫氏

「サイボーグ009」は9人のキャラクターのひとりひとりが生きて描かれている素晴らしい作品だ。長い間ヒットしてきた要因はここにある。

「ゴルゴ13」のさいとうたかを氏

石森氏の代表作であり、動かしてこそおもしろい作品だ。氏の映像に対する敏感さが、思う存分発揮されることだろう。

「地球へ…」の^{テラ}竹宮恵子さん

「サイボーグ009」は、思春期の大切な時期に、私を夢中にした初めての作品です。できれば何本でも映画にしたい。

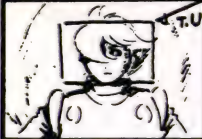


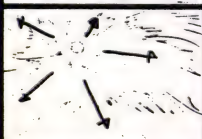
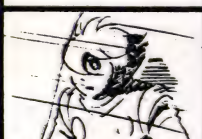
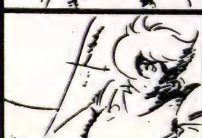


絵コンテ紹介

***エアートンネルを抜けてサバ登場のシーン**

| | 画 | THRE | FEET | MUSIC | EFFECT |
|--|---|--|------|-------|--------|
| | テブレンのワンズ 描えてい3 004 (マナ) | | | | |
| | ドマ光バ | | 2.0 | | |
| | スーと滑えて (1.7) | | | | |
| | 全身光流に包ま れた三(マナ) が理おれて | | | | |
| | 預入歩いてる | 001 驚くマナ！ 008 マナにマナマナ！ 001マナマナ 驚くマナ！ 001 008 マナマナ 001マナマナ マナマナマナ マナ (10.0) | | | |
| | その背後へワンズ 描えて下とふん 下3 001 008 110!!と立ち上る 光の間に、その時 001マナマナ 110!!と下る 001 008 (途中用3トア) (直通光スーバ) | | | | |
| | テブレン影で隠 れてい3 001 5 花 いた 003 下め 預め向いてい3 004 | 001 花は花は花は (花は花は花は) 003 2.7 001 001.7 | | | |
| | | | 2.7 | | |

*スターゲートへ突入する寸前のシーン

| | シ | TIME | FEET | MUSIC | EFFECT |
|--|---|-----------------|------|-------|--------|
|  | 同じ009、強し 7月5日の T.U 高止強しT.U | | | | |
|  | 色とりとり付く 27-ゲートT.U (主光源) | 20 | | | |
|  | 27-ゲートT.U 27-ゲートT.U (主光源) 27-ゲートT.U 27-ゲートT.U | | | | |
|  | 主光源 27-ゲートT.U (主光源) | | | | |
|  | 前009 11-20-20-20 高止強しT.U 高止強しT.U Follow PAN | 009 5.999--- | | | |
|  | PAN 高止(20) PAN (1.5) 高止(2.5) | 70 | | | |



サイボーグ009 《超銀河伝説》に 期待する 有名漫画家諸氏の声

「あしたのジョー」のちばてつや氏

「サイボーグ009」は石森氏の特徴をいちばん表わしている作品だ。表現したいもののエッセンスが、全部込められているという意味でも最高だ。

「鉄腕アトム」の手塚治虫氏

「009」の歴史と「007」映画の歴史とは、僕のイメージではダブって見える。しかし「009」はいつまでもナウで、チャミングであることか。それは単にカッコよさとか、SFっぽさだけではないのです。「009」よ永遠に！

「ドラえもん」の藤子不二雄氏

「009」を長期にわたって連載しているということを見ても、その意欲が感じられる作品だ。SFになっているが、SFを超えたサイボーグの愛、悩み、人間的魂のあるマンガだ。「超銀河伝説」と副題にあるとおり、壮大な叙事詩となるでしょう。

「銀河鉄道999」の松本零士氏

何しろ生年月日が同じなので宿命的なものを感じます。同じだけ息をした人の作品が映画になるのは感無量です。

子供の頃からの抜きでた感覚が、今、映画となり、集大成となるのを楽しみにしています。

天才という言葉は石森氏のためにあるのでしょう。

(アイウエオ順)

*ペンダントの中からタマラがあらわれるシーン

| シーン | 台本 | TIME | FEET | MUSIC | EFFECT |
|---|---------------------|------|------|-------|--------|
| 009とサイボーグ007が 005サイボーグを倒して 解放した。サテライト | | | | | |
| 重なるように光る (主光源) | | 4.5 | | | |
| ペンダントの中で 輝くタマラ。 彼に目を注ぐ009と 007。驚く | 002.008 「あー、タマラ」 | | | | |
| 突然ペンダントが 激しく光り出さ ず、タマラは、目 をさう一瞬 | 002.004 008. | | | | |
| 光の中から現れ るサイボーグ009を 抱いたタマラ。 | | 10.0 | | | |
| 光の中でサイボー グ009が驚く009 (アタ) | 009 「タマラ……」 | | | | |
| 光が消える | | 4.0 | | | |

*敵の攻撃に倒れたタマラを抱く009の名シーン

| シーン | 台本 | TIME | FEET | MUSIC | EFFECT |
|---------------------|---|------|------|-------|--------|
| 009 (アタ) | 009 「タマラ……」 | 1.5 | | | |
| 抱いたタマラ | | | | | |
| タマラは目を閉じ て | タマラ 「……タマラ……009 ……」 009「タマラ……」 「タマラ……」 | 9.5 | | | |
| タマラは目を閉じ タマラ | タマラ 「009……私……私…… 貴方に全てを……」 009「タマラ……」 タマラ 「貴方は……貴方は……」 | | | | |
| 倒れていた009 を抱いた009 | | | | | |
| 009 | | | | | |



10億光年の愛

町田 義人

はるかなる 宇宙の彼方
 10億光年 離れた星にも
 ぼくらのような人間が
 棲んでいたら
 彼等も愛を 持ってるだろう
 愛することを 知ってるだろう
 なぜなら愛がなくては
 生き物は生きてゆけない。

★Because love is the life

Because love is the light.

We can't live on any stars without love.

どこまでも 宇宙はつづく
 10億光年 その空間には
 きらめきながら星たちが
 浮かんでいる
 その星の上 生きてるものは
 愛とは何か 知ってるだろう
 なぜなら愛を受けつぎ
 生き物は生きてゆくのだ

★Repeat (twice)



愛はまぼろし

山本 百合子

流れ星が つかの間の命を
 はげしく燃やして 落ちてゆく
 夜明け来れば 輝く星さえ
 はかなく薄れてゆくでしょう
 愛しても 愛しても 愛はまぼろし
 悲しみが 悲しみが 深くなるだけ
 あの人を求めて この手さしのべ
 とどかない手が むなしく落ちる

★草に宿る 朝露の光

朝陽が昇れば 消えてゆく

それをながめ 私の心は

染まってゆく。のよ 哀愁に

★忘れても 忘れても 忘れられない

この愛が この愛が 強くなるだけ

あの人を求めて 名前呼んでも

こだましたまま はかなく消える

★Repeat

ポケッタメイツ アニメ映画を小説で!

ジュニアロマンのエース若桜木虔が贈る文庫シリーズ!

サイボーグ009

超銀河伝説

作★若桜木 虔 原案★石森章太郎



映画と同時
発売中!

PART I 定価320円 PART II 定価320円

- ★ムーの白鯨 アトランティスの襲来…●定価320円
- ★ムーの白鯨 悲劇の王女ラ・メール ●定価340円
- ★1年B組新八先生 新八先生初登場…●定価320円
- ★キャプテン……………●定価320円
- ★燃えろアースー 円卓の騎士物語…●定価320円

- ★宇宙戦艦ムサシ……………●定価300円
- ★日本タイム・パトロール……………●定価300円
- ★タイムトラベル3501……………●定価320円
- ★死者のデビュー曲……………●定価320円
- ★アンドロイド ジュディ……………●定価300円



東京・代々木
文化出版局

©石森プロ・東映

お知らせ

“プログラムに掲載されている
写真を実費販売します”

このプログラムの中で番号のついている
写真をご希望の方は下記へ現金書留で
映画名、ご希望の写真番号及びサイズを
明記してご注文下さい。

[例：サイボーグ009 1 ポストカード]

ご注文の受付は昭和56年3月末日迄で
×切ります。

販売価格 (送料を含む)

| カ ラ ー スチール | ポストカード 14.3×9.9cm | 6 ツ切 24.0×19.0cm | 4 ツ切 29.0×24.0cm |
|---------------|----------------------|---------------------|---------------------|
| | ¥300 | ¥1,500 | ¥2,000 |

●お申込み・お問い合わせは

東映株式会社・映像事業部商品事業室

〒104 東京都中央区銀座3-2-17 ☎03(535)4641(代) (561)3358(直)

キミだけの保存本

☆映画と同時進行完全集録

Definitive edition

サイボーグ009

超銀河伝説

定価2,900円送料¥300



限定予約発売中・直接お申し込みを!!

B5判／豪華上製本・カバー
ポスター付／総頁216ページ
本誌だけの全ストーリーカラービジュアル・AR台本集録・009のSF辞典・総設定資料集……………その他

●本誌は一般書店では販売しておりません。

☆本誌についてのお問い合わせは06(344)5959 か (345)2886へ
☆直接、郵便から現金書留か現金振替用紙(振替番号大阪48675)
で代金と送料(3,200円)をお送りください

お申し込み先

アニメボリス

〒530 大阪市北区曽根崎新地1-13-22
うめしん東映会館内アニメボリス係

